

定例記者会見（R7.2.3） 記者発表（市長発言）

さくら市長の花塚隆志です。

本日は、令和7年度さくら市当初予算等の記者発表を開催するお知らせをいたしましたところ、報道機関の皆様には、ご多忙中にもかかわらずご臨席をいただき厚く感謝申し上げます。

大相撲初場所では、東の十両さくら市出身の生田目関は、得意の迫力ある押し相撲で10連勝と快進撃、初の勝ち越しを果たしました。最後まで優勝争いに加わるなど、多くの市民に感動を与えてくれ、私も誇らしい気持ちになりました。また昨年末から、サッカー栃木SCの拠点誘致の知らせに、市民間の話題に期待感が大きく盛り上っているのを実感しております。

このように明るい話題で幕を開けたさくら市は今

年市制 20 周年を迎えます。この後資料をもとにご説明してまいります。

それでは、市制 20 周年記念事業等を含みます、令和 7 年度さくら市当初予算の概要について申し上げます。

本市における令和 7 年度予算であります。一般会計予算額は対前年度比 10.2%、22 億 1,600 万円増の 238 億 8,000 万円となり、当初予算としては過去最大規模となりました。

この予算執行によりまして、本市が目指す将来像、「暮らしを楽しめる、健康・里山・さくらの小都市(まち)」を実現するため、集中的な予算投下、デジタル技術の活用により、市民生活の変革を図っていききたいと考えております。

まず、歳入予算について、18 ページ 一般会計予算款別一覧表の上段ご覧ください

市税につきましては、社会経済活動の回復傾向を考慮し、市税全体として、対前年度比 2.1%、1 億 3,935 万 7 千円増の 67 億 7,854 万 2 千円を計上いたしました。

この他、寄附金につきましては、一般のふるさと寄附金の増収見込みに加え、栃木 S C の練習拠点整備に賛同する企業版ふるさと納税の寄附見込み額を考慮し 10 億円を計上いたしました。

次に、主な歳出予算について申し上げます。

はじめに「暮らしを楽しめる小都市(まち)づくり」であります。

市全体の魅力向上を目指し、本市での暮らしを楽しんでいただくまちづくり・生活の舞台づくりに取り組んでまいります。

その取組として、各行政区における活動の充実を推進するため、交流活動への助成や自治会アプリ導入への補助を実施いたします。

また、氏家駅東地区の魅力向上を目指したまちづくり基本構想をより具体化するため、地元との意見交換を重ねながら関係機関との協議を進め、都市計画事業の事業化に向けた準備を進めてまいります。

さらに、高齢者の移動手段の進化は喫緊の課題であることからデマンド交通運行については、予約や配車の利便性が向上する AI デマンド交通システム導入による運行を開始いたしました。

2つ目は「健康の小都市（まち）づくり」であり

ます。

株式会社タニタヘルスリンクとの包括連携協定に基づき、同社が持つノウハウを生かして、血圧計、体組成計等を保健センターやまちなか保健室に配置し、そこで得た自身の体の状態が常にデータで把握できるなどの機能を備えた新たな健康管理アプリを導入いたします。

また、昨年12月に本市と栃木SCで取り交わしたスポーツを核とする元気で健康な地域づくり包括連携協定に基づく基本合意による取組みとして練習場整備に対する支援に合わせて周辺環境整備を実施いたします。

3つ目は「里山の小都市（まち）づくり」であります。

まず、お丸山の再整備の一環としてスカイタワー

周辺に遊具を設置するほか、第4期エリアの遊歩道周辺に美観保持のため張芝を実施いたします。

また、今や本市の桜の名所となった、ゆうゆうパークの芝生広場に四阿（あずまや）を設置し快適性を向上いたします。

4つ目は「さくらの小都市（まち）づくり」であります。

早乙女桜並木再整備を進捗させます。令和7年度は東側の植栽と景観に配慮した転落防止柵設置工事等を実施いたします。

また、さくらテラスにおいて、市民企画・参加型イベントとして、ドライフラワーオブジェやフラワーカーペットの製作、展示を行います。

文化芸術の振興では、戦後80年特別企画として、昨年逝去された谷川俊太郎氏の平和を伝える作品の

ほか、多くの子供たちに書籍を親しんでもらうため、人気絵本作品の物語を実体験できる企画展を開催いたします。

また、本市で開催される「全国足利氏ゆかりの会」関連の事業として、「鎌倉公方足利氏の至宝 喜連川文書」展を開催いたします。

5つ目は「地域経済の活性化」であります。

本市における新規産業団地開発候補地となっている蒲須坂工業団地の南側エリアについて、栃木県への産業団地開発の要望書の提出に向けて準備を進めているところです。

本地区において測量業務等を実施するとともに、引き続き地域や関係機関との調整を進めてまいります。

また、物価・資材価格高騰における農業経営の安定

を図るため、新たに市独自の制度資金を設け、貸付及び保証料・利子の補助を実施いたします。

6つ目は「さくら市の子ども達のための施策」であります。

新年度は、いよいよ新給食センターが完成します。

「四里四方」・「身土不二」の理念のもと地元食材がふんだんに提供されることを目的として学校給食用作物推進支援メニューを新たに創設し、安定供給に資する農業者との連携を図ってまいります。

また、放課後児童クラブに対する需要の高まりに応えるため、南小学校敷地内に放課後児童クラブを新設いたします。

令和8年4月に既存民間保育園が閉園することに対応するため、民設民営方式を活用した新たな保育園の整備を進めます。

保育所等に通っていない満3歳未満の子どもが時間単位で通園可能となる「こども誰でも通園制度」を開始いたします。

さらには、ヤングケアラー支援を含む子育て世帯支援のため、新たにこども家庭センター内に心理学の専門職を配置し相談・支援体制の強化を図ります。

子どもの貧困対策として、「常設子どもの居場所」整備に取り組む事業者を支援いたします。

その他、産後ケア利用者の負担軽減を図るため全額免除回数の拡充や児童生徒が使用する学習端末機（タブレット）の更新を行うなど、年少人口比率、合計特殊出生率が県内1位の実績を更に加速させる施策の展開を図ってまいります。

7つ目は「市制20周年記念事業」の実施であります。

市制 20 周年の大きな節目となります、令和 7 年 3 月 29 日には感謝の意を込め、記念式典を開催いたします。また、令和 7 年 1 月から 12 月までを「市制 20 周年」を祝う期間とし、様々な記念行事を展開してまいります。

その中で、市民団体等に「市制 20 周年」を祝う記念事業を実施いただける場合は、その経費の一部を補助する事業を創設し、市民の皆様と共にお祝いをさせていただきたいと考えております。

8 つ目は「減災・防災・防犯」であります。

気候変動による異常降雨をはじめ、自然災害に備えるための減災・防災対策を着実にを行います。飲料水や食料品等の備蓄品・非常用電源等の資機材の調達確保や、避難行動支援の準備等に余念なく取り組んでまいります。

また、防犯対策として、65歳以上の高齢者や行政区等を対象として、防犯カメラ購入の一部を補助する制度を創設し、行政区重視の市政を推進し地域の一層の安全確保に努めてまいります。

最後に「増収のための施策」であります。

令和6年度のふるさと納税については、個人からの寄附総額が7億円を超える実績をあげることができました。

引き続き、返礼品の数や代理収納システム（ポータルサイト）の拡充を図ってまいります。

以上、令和7年度に取り組む、新たな事業及び現行の事業を拡充し強化する主な事業を申し上げます。

さて次の内容になります。

栃木 SC との連携経過についてです。

スポーツを核とする元気で健康な地域づくり包括連携協定に基づく基本合意による、さくら市の連携協定内容の進捗や栃木 SC 練習拠点施設（グラウンド施設・クラブハウス施設）の整備については、企業版ふるさと納税を活用を行ってまいります。予算額は企業版ふるさと納税を財源とした補助金 3 億円を想定しております。

次に市制 20 周年記念式典及び記念イベントの開催についてです。

さくら市は平成 17 年 3 月 28 日に旧氏家町と旧喜

連川町が合併して誕生いたしました。そして令和7年3月に市制20周年を迎えるにあたり、3月29日（土）氏家公民館にて午前中に記念式典、午後に記念イベントの開催を予定しております。

記念式典では、さくら市に関係する皆さまや国際友好都市であるランチョ・パロス・ベルデス市の市長、議員もお招きする予定であり、その方々と共に市内小中学生に「私の考える20年後のさくら市」というテーマで募集した作文、プレゼンの表彰を行います。

また、さくら市の周知に多大な貢献を頂いてきた各種大使の皆さまを20周年を機に「さくら市PR大使」として統一、午後のイベントにて就任式を行います。

第2部にあたる午後のイベントでは広く参加者を集い、市民団体による公演や、記念コンサートも予定しております。

次に令和6年度の本市へのふるさと納税寄附額が、昨年12月末時点で7億円超となり、過去最高額へ到達しました。(令和5年度総額 約6.2億円)

今年度の寄附総額は、7.6億円に達することを見込んでおります。

最後に新デマンド交通の運行開始についてです。

先ほど予算のところでも触れましたが、従来のデマンド交通にAI技術を活用した、新しいデマンド交通が本日2月3日より運行開始します。また、車両が一新され、1月30日にお披露目式を実施しました。

資料最後には2・3月の開催事業があります。参照ください。

以上をもちまして、私からの記者発表とさせていただきます。報道機関の皆様には、今後とも「さくら市」の事業を報道いただき、広く情報を発信いただきますよう、引き続きよろしく願いいたします。